

晃の園だより

静岡市富沢1542-39
社会福祉法人 駿河会
特別養護老人ホーム 晃の園
第120号

ユニットケアをスタートして半年・・・
立ち止まり、振り返り、気づき、そしてまた一歩前へ

園長の部屋

秋からいっきに冬模様の季節となりました。ユニットケアが始まって6ヶ月です。皆様の楽しげな生活の様子が見られるようになりました。特に余暇の過ごし方、そして生命の源となる食へのこだわりによってスタッフ一同創意工夫で取り組んでいます。

向寒の候、健康に留意しながら生き生き人生を送っていただけるよう、なじみの関係づくりへと進みたいと思います。

さえずり

森の音楽会に行ってきました。10月10日（ひと昔前で言えば体育の日）富沢よりもまだまだ北にある「峰山小学校」に行ってきました。体育の日とは縁遠い催しでしたが、実はこの日、小学校にプロの音楽家が集まって音楽会が開かれました。小学校の生徒さんはもちろん、地元の方たちも大勢見えて、音楽室はとてにぎやかでした。

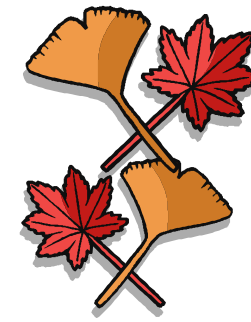
さて音楽会。ピアノとバイオリン、そしてコントラバスの3つの楽器による演奏で、クラシックから映画音楽、ディズニーの名曲など、約1時間にわたって演奏されました。晃の園の食堂にはラジオカセットがあって、クラシックなんかもちょうくちよくかかっています、やっぱり全然違いましたね。参加された入居者の皆様もこの生の演奏に感激された様子で、うっとりバイオリンの旋律に耳を傾けていました。

峰山小学校は全校生徒7名という小さな学校ですが、校長先生をはじめ、先生や生徒の皆さんも大変明るく、私たちをこの催しに快く招いてくださいました。これからも小学校ではいろいろな催しが予定されているそうです。晃の園の入居者もこういった地域の活動に参加していきたいと思っています。

小学校の諸先生方、そして生徒のみなさん、ありがとうございました。



はなびら



秋も深まり、朝夕寒さを感じるようになってきました。でも日中は過ごしやすく、真に行楽シーズン到来！！私たち花びらユニットでも時間にゆとりがある午後、外への散歩に出る機会が増えました。一步外へ出るとそこには赤く色づいた木々や澄んだ秋空が広がり、とても快い気分になります。スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋など秋にはいろいろありますが、そんな楽しみの多い季節だからこそ、いろいろ出かけて、気分よく過ごしたいものです。というわけで、今日もちょっとそこまで行ってきま～す！！

10月25日、秋の遠足で「島田のバラ園」へ行ってきました。バラ園は今がちょうど見頃。みごとなバラが園内にいっぱい咲き乱れていました。帰りには焼津魚センターにて昼食をとり、新鮮な海の幸を十分に食べて帰路につきました。皆さん、笑顔が絶えず、楽しい一日を過ごされました。

10月27日 入居者の方2名と吉津までドライブに行きました。南藁科小学校の裏をしばらく走り、たどり着いた水路には、とにかく鯉、コイ、こい！！ 鯉がすごたくさんいました。入居者さんが数えたかぎりでは50匹は下らない数だったそうです。次回は手土産をいっぱい持っていかなければいけませんね。

ちょっとした散歩でも入居者さんと職員には本当にいい気分転換になります。これからもこういった外出の機会を増やして心身ともに健康でありたいと思います。風邪には充分気をつけましょう！！

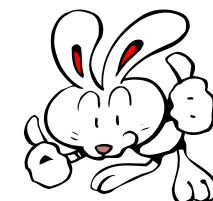


わかな

ユニットになり半年が過ぎました。若菜ユニットでは、菜園を始めたり、日中は利用者に役割をもって生活してもらったりしていく内に、一人一人個性が出てきて家庭的な雰囲気となってきました。今回は機能訓練の様子を写真に撮りましたので紹介します。機能訓練は利用者さんとの関わりを深めると共に、機能低下を防ぐ事を目的に始めました。

さんはベッド上で生活されている方ですが、日中は本人から「起きたい！！」との声も聞かれ、リクライニングに起きて生活されることも度々あります。現在手足のこ縮がある為、その予防と痛みを少しでも軽減し、本人が安楽に生活してもらえよう、1日10分程度座ってもらい、コミュニケーションをとりながら、リハビリを行っています。最近は昼食時、離床してもらい自力摂取を試みています。

さんは日中フロントにて車椅子 椅子に移り過ごされています。このように歩行器にて訓練を行っている目的としては、機能維持、下肢浮腫予防、運動不足解消があげられます。1号棟の園内を1周するのが日課となり、がんばっています。



ひだまり

ひだまりの住人は今、家庭菜園に力を入れています。

9月26日(木)ホームセンターへ職員と車で出かけ、花の種や野菜の種、野菜づくり用の土や園芸用のスコップなど、いっぱい買い込んで来ました。

天気の良い9月29日(土)に、はつか大根と絹さやえんどう、パンジーなどの種をまきました。望月正さんは種をパラパラと均等にうまく蒔いてくれて、さすが昔取ったきねづか?いやいや今日から現役ですといった感じです。種を蒔いてから、毎日毎日「早く大きくなーれ」とプランターを覗いている姿が見つけれられました。



10月19日(土)はつか大根の抜き菜をしました。茹でて、お昼のおそばのトッピングとなり、色鮮やかでとてもおいしく頂きました。初収穫に舌つつみをうち、おいしさが顔いっぱいにあふれていました。

その後も何回も収穫して、みんなで頂いています。今ではプランターでは物足りず、花壇を開墾して野菜畑にしようとして策を練っている最中です。来年の春にはひだまり畑でたくさんの野菜が収穫されるのが楽しみです。

ひだまり住人も畑仕事に精を出せるよう、風邪を引かないよう頑張ります。



看護婦さんの喫茶店オープン

看護科では主に入所されている方の健康管理に努めていますが、新たに週に一度一号棟に場所を借り、喫茶店をオープンしました。

これは、一杯のコーヒーを通して入居されている方と同じ時間を共有し、ふれあいの場として、また入居されている方にとっての安らぎの時間となれば、との思いから10月から行っています。

最近では喫茶店も定着し始め、大勢の方が訪れて下さいます。ご家族の方も大歓迎です。どうか一度お越し下さい。お待ちしております。



この人、看護婦さん



これから...



入居者一人一人に添える介護、安らぎのある生活を求めて、5月中旬よりユニットケアを始めました。毎日が試行錯誤の連続でしたが、月日は巡り、早半年が過ぎようとしています。この半年を振り返ってみると、多くの「気づき」がありました。

これまで問題がある、と捉えてきた入居者さんの行動が個々の訴えだと理解し、それに応えるケアになりました。また、固定の職員が関わることで、馴染みの関係が出来、様々な声が表現豊かに伝わるようになりました。入居者と向き合うことで個々の能力に適したケアを追求できたことも大きな収穫でした。

一方で、未熟な部分にも気づきました。職員の意識です。始めからダメと決めつけず、前向きに、積極的に何でも挑戦してみようという姿勢は持てました。が、目標が漠然としており、しっかりとした認識を持たずにやってきてしまったので、職員間に意識のずれが生じていました。まだまだ職員主導のケアが多く、入居者さんの出来ること、可能性を埋めています。これからの課題として、各ユニットが独自の理念を持ち、統一の意識のもとで連携・協力し、入居者さんの生活に寄り添っていきたいと思います。

そのために現在の生活を今一度振り返り、食事のあり方や気分転換づくり、時間の共有に努めていきます。また、地域との情報交換をし、地域社会へ生活の足を伸ばしたいと考えています。

この半年で、ようやく一般に言われていることが見えた段階です。今後は晃の園入居者にとってのより良い暮らしが実現できるよう、また一步、入居者に歩み寄りたと思います。



外部からの講師を招いての講習会。今回は口腔ケアについての講義をしていただきました。

クリスマス会
のお知らせ
12月24日(火) 14時から
楽しい出し物を多数用意しております。みなさん、どうぞお越しください。